

はじめて

このテキストは、小学五年生までに国語で学習する基本事項をしっかりと身につけるとともに、将来の中学入試にも十分対応できる、本格的な文章読解力を養成することを目的につくられました。

文章がある程度読めても、筆者の考え方や感じ方の持ちよう、また、作品の主題や要旨など内容の深いところまで読みとり、理解するためには、文章読解のポイントを把握しなければなりません。加えて、記述式の解答を求めるけい向が強まっている現在、理解したことを正確に伝えるための書く力・記述力がないと、入試において得点することはできません。

このため、テキストでは、読解力のポイントを学習することとへい行して、基礎力としての漢字やことばの知識の学習と、文章を書く力をのばすための学習ができるしくみになっています。

国語の基礎を身につけ、文章を読みとるうえでのポイントを理解したら、あとはいろいろな文章に接することので広い世界に目を向け、社会がかかえるさまざまな問題について考え、思考力をおおいに深めてください。

このテキストを計画的に活用することで、一人ひとりが大きな成果をあげられることを期待しています。

◆ テキストのしくみと使い方 ◆

一・ 読解力をつける・国語の知識

基本問題

…… **考え方** を手がかりにして問題を解くことで、読解のポイントを学習します。

練習問題

……自分の力で問題を解くことで、「基本問題」で学習したことがらを定着させます。

国語の知識

……漢字・語句・文法の知識を身につけます。

二・ 読解力をのばす・記述力をつける

練習問題

発展問題

……さまざまなレベル・内容の問題を解くことで、読解力をきたえます。

記述力をつける

……文章を書く力をのばします。

実力完成テスト

……テキストの総まとめのテストです。自分の学力を試してください。

◎漢字ドリルでは、五年生までに学習する漢字を覚えます。

五年国語 もくじ

一・読解力をつける・国語の知識

1	文章読解の基本(1)	4
2	文章読解の基本(2)	8
1	五十音図・かなづかい	12
2	漢字の成り立ち・部首	14
3	説明文の読み方(1)	16
4	説明文の読み方(2)	20
3	漢字の画数・筆順	24
4	辞典の使い方	26
	漢字ドリル1	28
5	説明文の読み方(3)	30
6	説明文の読み方(4)	34
5	漢字の読み方・送りかな	38
6	同音・同訓異字と同音異義語	40
7	物語の読み方(1)	42
8	物語の読み方(2)	46
7	熟語の組み立て／	
	三字熟語・四字熟語	50
8	類義語・対義語	52

二・読解力をのばす・記述力をつける

18	語句の意味・用法(1)	108
19	語句の意味・用法(2)	110
	漢字ドリル4	112
17	説明文の読解(1)	114
18	説明文の読解(2)	120
1	文章中の符号・	
	原稿用紙の使い方	126
19	物語・小説の読解(1)	130
20	物語・小説の読解(2)	136
2	短い文を書く	142
	漢字ドリル5	146
21	伝記の読解	148
22	記録文・報道文の読解	154
3	文のつながりを考えて書く	160
23	随筆の読解(1)	164
24	随筆の読解(2)	170
4	説明文を読んで、	

	9	ことわざ・慣用句	54
		漢字ドリル2	56
	9	物語の読み方(3)	58
	10	物語の読み方(4)	62
	10	文・文節・単語	66
	11	主語・述語・修飾語	68
	12	単語の種類／名詞・代名詞	70
	11	論説文の読み方(1)	72
	12	論説文の読み方(2)	76
	13	動詞・形容詞・形容動詞	80
	14	副詞／擬声語・擬態語	82
	15	助詞・助動詞	84
		漢字ドリル3	86
	13	随筆の読み方	88
	14	詩の読み方(1)	92
	16	接続語・指示語	96
	17	敬語	98
	15	詩の読み方(2)	100
	16	短歌・俳句の読み方	104

		記述問題に答える	176
		漢字ドリル6	180
	25	論説文の読解(1)	182
	26	論説文の読解(2)	188
	[5]	物語を読んで、	
		記述問題に答える	194
	27	詩・短歌・俳句の読解(1)	198
	28	詩・短歌・俳句の読解(2)	204
	[6]	論説文を読んで、	
		記述問題に答える	210
		漢字ドリル7	214
	20	知識のまとめ(1)	216
	21	知識のまとめ(2)	220
	29	実力完成テスト(1)	224
	30	実力完成テスト(2)	230



5

説明文の読み方(3)

◆基本問題

● 上の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

問一 次のうち、筆者の考え・意見を述べているものはどれですか。一つ選びなさい。

ア 日本は、「水害列島」とよばれるくらい、洪水などの水による被害が多い。

イ いずれも生活を守るための、水害防止を目的にした治水事業だ。

ウ こうした開発攻勢の中から、少しずつ川への取り組みに、変化が見られるようになってきた。

エ このような状況を見ていくと、どうも川の仕組みを本当に理解しないで、川をいじっているのではないだろうかと思えてくる。

考え方

いずれも文末表現から判断できます。ア～ウが言い切っているのに対して、エは「思えてくる」となっているので、筆者の思っていることを述べていることがわかります。

問二 A・Bにあてはまることばを、それぞれ次の中から選

びなさい。

- ア ところが イ つまり ウ たとえば
エ そこで オ または

本文

ポイント学習

事実と考え・意見

説明文の多くは、ある事実をもとに、筆者の考え・意見を述べるという形になっています。したがって、次のような点に注意して、事実と考え・意見を区別して読むことが大切です。

- (1) **文章の流れに着目する**……多くの場合、事実を述べたあとで、その事実についての考え・意見を述べるという流れである。
- (2) **文末表現に着目する**……考え・意見は、文末が「……だろう（でしよう）」「……と思う」「……たい」「……にちがいない」「……と

考える」などの表現をとる場合が多い。

A
B

問三

——線①『多自然型川づくり』とか『魚のすめる川づくり』を、筆者はどう考えていますか。次の中から選びなさい。

- ア たいへんすばらしい取り組みだと考えている。
- イ まあまああの取り組みだと考えている。
- ウ 評価できる面と評価できない面があると考えている。
- エ とうてい評価できる取り組みではないと考えている。

考え方

終わりの二つの段落で述べられている筆者の考え・意見から読みとります。

問四

——線②「これ」は何を指していますか。文中のことばを使って答えなさい。

問五

この文章を、「事実」を中心に述べている部分と、「考え・意見」を中心に述べている部分に分けると、後者はどの段落から始まりますか。段落番号で答えなさい。

考え方

問一・問四に着目しながら、全体の流れを読みとります。

＊練習問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

6

説明文の読み方(4)

◆基本問題

● 上の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

問一 この文章は、何について説明したものですか。次の中から選
びなさい。

- ア ウサギの耳が長いわけ
- イ ウサギが耳を立てて走るわけ
- ウ ウサギの走る速さ
- エ ウサギの体温

考え方

第一〜第三段落だんごくの段落ごとの話題をとらえ、それらに共通する話題としてふさわしいものをア〜エの中から選びます。どの段落にも、「耳」ということばがくり返し出てきますから、この文章が「ウサギの耳」について述べていることがわかります。したがって、ア・イのどちらがふさわしいかを、各段落の内容を正確にとらえて判断します。

本文

問二 ——線部「あせ」には、どんな作用があるのですか。文中のことばを使って書きなさい。

＊練習問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

問一 — 線①「ぼやいている」とありますが、「ぼやく」の意味として適当なものを、次の中から選びなさい。

- ア 同じことをくり返して言う。
- イ あれこれと注文をつける。
- ウ ぶつぶつと不平を言う。
- エ さりげなく言う。

問二 — 線②「愛国心」とは、この場合、どのようなことを表していますか。文中のことは書きぬいて次のように答えなさい。

外国にいても、自分の国の

を思うこと。

問三 — 線③ A・Bにあてはまることばを、それぞれ次の中から選

びなさい。

- ア さて
- イ また
- ウ つまり
- エ だから
- オ しかし

A
B

問四

④段落の話は、どのようなことを述べるためにあげたものですか。次の中から選びなさい。

ア 日本と中近東では、食べ物にふくまれている塩分量に大きな差があること。

イ よその土地にいったら、地元のものだけを食べるようにしないとひどい目にあうということ。

ウ それぞれの土地には、その土地の自然条件に適した食べ物があるということ。

問五

— 線③「型にはまった教科書的な話」と反対の内容を表していることばを、⑥段落から十二文字で書きぬいて答えなさい。

問六

この文章で筆者が最も述べたかったことは何ですか。次の中から選びなさい。

ア 日本の食べ物は確かにおいしいが、なかには外国の自然条件に適さないものもある。

イ 長年その料理を育てあげてきた風土や文化を理解することで、外国の料理をおいしく味わうことができる。

ウ 外国について論じるときは、まず最初にその国の食事の材料や料理の姿を研究するべきだ。

エ 外国に行ったら、その国の風土や文化を理解するために、なるべくその国の食べ物を味わうべきだ。

5 漢字の読み方・送りがな

ポイント8 漢字の読み方

漢字の読み方には、音読みと訓読みの二通りがあります。

(1) **音読み**…中国から伝わった読み方をもとにした読み方で、音を聞いただけでは意味がはっきりわかりません。

(2) **訓読み**…漢字の意味に合わせて、日本のことばをあてはめた読み方で、ほとんどの場合、発音を聞いただけで意味がわかります。

例 音…サン カイ ショ バイ
 山 海 花 書 売
 訓…やま うみ はな かく うる

《二字熟語の読み方》

(1) 音読み(音・音読み) ……上も下も音読み。

例 読書 人間 機械 活動

(2) 訓読み(訓・訓読み) ……上も下も訓読み。

例 青空 花火 手紙 野原

(3) **重箱読み**(音・訓読み) ……上が音読み、下が訓読み。

例 本屋 両手 試合 茶色

(4) **湯桶読み**(訓・音読み) ……上が訓読み、下が音読み。

例 荷物 金具 関所 手帳

《特別な読み方(熟字訓)》 例 大人 今朝 明日 八百屋

1 次の熟語の読み方は、あとのア～エのどれにあたりますか。

- (1) 先手 () (2) 進歩 () (3) 切手 ()
- (4) 台所 () (5) 連続 () (6) 雪国 ()
- (7) 場所 () (8) 親友 () (9) 雨具 ()
- (10) 朝日 () (11) 合図 () (12) 番組 ()

ア 上も下も音読み
 イ 重箱読み(上が音、下が訓)
 ウ 上も下も訓読み
 エ 湯桶読み(上が訓、下が音)

2 次の漢字または熟語の音読みと訓読みを、それぞれ書きなさい。

- (1) 底 (音) () (2) 飯 (音) ()
- (4) 牧場 (音) () (5) 草原 (音) ()
- () () () () () () () ()
- () () () () () () () ()

3 次の各組の中から、——線部の漢字の読みが他とはことなるものを、一つずつ選びなさい。

- (1) (ア) 平和 (イ) 公平 (ウ) 平行 (エ) 平等 (オ) 不平
- (2) (ア) 発見 (イ) 発進 (ウ) 発作 (エ) 発達 (オ) 発表

4 次の漢字の読みを書きなさい。

- (1) 迷子 () (2) 果物 () (3) 景色 ()
- (4) 河原 () (5) 七夕 () (6) 下手 ()

ポイント9 送りがな

送りがなのつけ方は、主な品詞（P70・80参照）ごとに次のような決まりがあります。しかし、例外も多いので、漢字を覚えるときには、送りがなに注意して覚えるようにしましょう。

(1) 動詞…活用する部分（形が変化するところ）から送る。

例 書く 生む 聞く 考える 起きる

(2) 形容詞…「い」で終わるものは「い」、「しい」で終わるものは「しい」の部分から送る。

例 高い 白い 快い 楽しい 美しい

(3) 形容動詞…ふつうは「だ」から送るが、「か」「らか」「やか」がつくものは、そこから送る。

例 元気だ 大変だ 静かだ 明らかだ 和やかだ

(4) 名詞…送りがなをつけないのがふつうだが、次のようなときには送りがなをつける。

① 読みまちがいやすいもの 例 後ろ 幸い 半ば

② 活用する語（動詞・形容詞・形容動詞）から転じたもの ……もとの語の送りがなのつけ方によって送る。

例 喜び 祭り 晴れ 問い 正しさ 明るみ

(5) 副詞…語の最後の音を送る。

例 最も 必ず 再び 全く

5 次の各組のうち、送りがなが正しいものはどれですか。

- (1) ア 伝える
イ 伝たえる
- (2) ア 温い
イ 温かい
- (3) ア 明るい
イ 明かるい

6 次の各組の——線部の漢字の読みを書きなさい。

- (4) ア 勇い
イ 勇しい
ウ 勇ましい
- (5) ア 勢い
イ 勢おい
ウ 勢きおい
- (6) ア 群る
イ 群がる
ウ 群らがる

7 次の各文の——線の部分を、漢字と送りがなで書きなさい。

- (1) ア 重い
イ 重ねる
- (2) ア 細い
イ 細かい
- (3) ア 上る
イ 上がる
- (4) ア 結ぶ
イ 結う
- (5) ア 下る
イ 下がる
ウ 下ろす
- (6) ア 冷める
イ 冷たい
ウ 冷める

8 次の各文の（ ）の中に適当な送りがなを書き入れなさい。

- (1) 月が欠（ ）。
- (2) 家族を養（ ）。
- (3) 険（ ）道。
- (4) 空に雲が一つ現（ ）。
- (5) 心を改（ ）。
- (6) 農業を営（ ）。

ポイント11 同音異義語

《同音異義語》 同じ音読みで、意味のちがう熟語があります。

これを同音異義語といいます。

例 いがい 意外 園芸
えんげい 演芸

4 次の熟語と同音の熟語を二つずつ書きなさい。

- 例 夏期…() 下記…() 火気…()
 (1) 快走…()
 (2) 気管…()
 (3) 解放…()

5 次の各組の漢字の中から正しいものを選びなさい。

- (1) ブームが(ア)加熱(イ)過熱(ウ)する。
 (2) (ア)改心(イ)会心(ウ)の作品ができあがった。
 (3) 毎月の(ア)保健(イ)保険(ウ)料をはらう。
 (4) 彼はよく(ア)週間(イ)習慣(ウ)週刊(エ)誌を読む。
 (5) (ア)競争(イ)競走(ウ)心をおおるのはよくない。
 (6) 弟はおじの(ア)感心(イ)寒心(ウ)歡心(エ)関心(オ)をかおうと、おどけてみせた。
 (7) わたしは、山田先生に(ア)私事(イ)指示(ウ)師事(エ)指事(オ)したいと思っている。
 (8) 出動の(ア)体勢(イ)体制(ウ)大勢(エ)態勢(オ)をととのえる。

6 次の各組の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- (1) ア 机つくえの上でボールがセイシした。
 イ 暴走する車をセイシした。
 (2) ア 人の列のサイゴにならんだ。
 イ あのらしく立派なサイゴでした。
 (3) ア タイショウ的な性格の兄弟。
 イ 小学生をタイショウとした映画。
 ウ 左右タイショウの図形。
 (4) ア エイセイ検査。
 イ 人工エイセイを打ち上げる。
 ウ スイスはエイセイ中立国だ。
 (5) ア 幸せなカテイをぎずく。
 イ 人類の進化のカテイを知る。
 ウ 彼を犯人とカテイする。
 (6) ア キカイのぐあいをみる。
 イ 友人に会えるよいキカイだ。
 ウ キカイ体そを習う。
 (7) ア コウカな品物を買う。
 イ 練習のドウカが上がる。
 ウ コウカをうたう。
 (8) ア 参加者のシメイを記入する。
 イ 川上君を委員にシメイする。
 ウ 首相としてのシメイを果たす。

24

随筆の読解(2)

*練習問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

問一

文章中に風景を美しくえがきだしている部分があります。その部分をさがし、初めと終わりの四字を書きぬいて答えなさい。(句読点も一字に数えます。)

問二

——線①「主人が、馬をたたくムチで、いきなりわたしの手をぶったのです」とありますが、

(1) 主人は、筆者のどのような行動をとがめたのですか。文中のことばを使って書きなさい。

(2) (1)で答えた行動を、主人はなぜとがめたのですか。その理由を文中のことばを使って書きなさい。

問三

〔A〕にあてはまることばを、文中から書きぬいて答えなさい。

問四

〔B〕にあてはまることばを、次の中から選びなさい。

- ア おそろしくなる
- イ 注意したくなる
- ウ 悲しくなる
- エ おこりたくなる

問五

——線②「それ」は、何を指していますか。文中から書きぬいて答えなさい。

問六

筆者は、ベドウィン族との出会いを通してどういうことを学んだのですか。次の中から選びなさい。

ア どのように変わっている文明や文化でも、旅に出たらその土地の文明・文化に従うほうが安全である。

イ 旅で得られることなる文明との出会いが、その人の人格を成長させる大切な体験である。

ウ 文明や文化は民族によってことなるものであり、それを直接に体験して理解することが旅である。

エ その民族の掟をわすれてしまうと、時にはひどい目に合うが、そうした危険も旅の大きな楽しみである。

◆発展問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

本文

問一 — 線①「いすわってしまった」のは、何ですか。文中から書きぬいて答えなさい。

問二 — 線②「さえた夜空」とは、どういう夜空ですか。次の中から選びなさい。

- ア 晴れわたってひえびえとした夜空。
- イ どんよりと重苦しいくもった夜空。
- ウ 星も月もない真っ黒に見える夜空。

問十一 ———線⑧「三通り」とは、具体的にはどういう三つの状態を表していますか。それぞれ文中から書きぬいて答えなさい。

問十二 農業をいとなむ筆者にとって、「自然」は、どういう長所と短所をもっていますか。それぞれ文中のこばを使って簡単に書きなさい。

・長所 _____

・短所 _____

問十三 筆者にとって、被害にあったリングがいかに大切なものであったかを、ある感覚になぞらえて表現している一文を文中からさがし、初めの五字を書きぬいて答えなさい。

問十四 筆者は、「凍みリング」の事件を通してどういう思いをいだいたと考えられますか。次の中から選びなさい。

ア 自然の大きな力に改めておそろしさを感じ、自分が自然を甘く見ていたことを素直に反省し、もっともつと自然を研究しなければならぬ。

イ 自分をささえて、救ってくれた人びとの真心に感謝し、これからも、そうした人々と協力し合って、リングづくりにはげんでいきたい。

ウ 多くの人びとの真心と連帯でなんとか窮状をしのぐことができたので、これからはこうした人びとをさらにたくさんつくり、自分のリングづくりに役立てたい。

エ 自分をささえてくれる人がたくさんいたことはうれしいが、そういう人たちの助けを借りないでもやっていけるリングづくりを目ざしたい。

問十五 この文章について述べた評としてふさわしくないものを、

次の中から一つ選びなさい。

ア えがき方が細かいので、ようすや状態がよくわかる。

イ 事実だけを正確に伝えようと冷静に記述している。

ウ 筆者のリングづくりにかける情熱が伝わってくる。

エ 物語を読むような展開のおもしろさがある。

【4】 説明文を読んで、記述問題に答える

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

本文

問三 — 線③の「ヘモグロビン」は、ミジンコの体にどのような変化をあたえますか。二つの文で、九十字以内でまとめて書きなさい。

問五 — 線⑤「黒いミジンコ」は、どのような地域で見られますか。二十字以内でまとめて書きなさい。

問四 — 線④「なぜ酸素濃度が低下したときにだけ赤くなるのでしょうか」とありますが、その理由を、五十字以内でまとめて書きなさい。

漢字ドリル 6

① 次の——線の漢字の読みがなを書きなさい。

- (1) 貿易によって国が栄える。
- (2) 申し出を承知した。
- (3) 作文の構成を考える。
- (4) 出発の準備にとりかかる。
- (5) 義務を果たす。
- (6) 学校の伝統ある行事に参加する。
- (7) 損害をこうむる。
- (8) 恩をあだで返してはならない。
- (9) これまでの態度を改める。
- (10) 旅行のための乗車券を買った。
- (11) 墓前に花をそなえる。
- (12) 武者ぶるいが止まらない。
- (13) りっぱな成績を残した。
- (14) 個人の考えを大切にする。
- (15) 物価が上がる。

② 次の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 交通ドウトクを守る。
- (2) 畑にヒリヨウをまく。
- (3) 新聞のチヨウカンを読む。
- (4) ひとことヨケイだった。

③ 次の——線のカタカナを送りがなをつけて漢字に直しなさい。

- (1) 人口がフエル。
- (2) 心がマズシクてはいけない。
- (3) その場のイキオイで引き受けた。
- (4) 目の前を電車がスギル。
- (5) 映画館で席をウツル。
- (6) 入場できる人数をカギル。
- (7) 友人の失敗をユルス。
- (8) 相手が来るのを待ちカマエル。
- (9) 運を天にマカセル。
- (10) セイノウのよい自動車に乗る。
- (11) 友人を家にシヨウタイした。
- (12) 火事のゲンインを調べる。
- (13) ゲイジュツに親しむ。
- (14) 医者がビヨウジヨウを説明する。
- (15) コウカのあるかせ薬をのんだ。

④ 次の熟語じゆくごの組み立てと同じ組み立ての熟語をあとから選びなさい。

- (1) 豊富 ()
- (2) 寒暑 ()
- (3) 良心 ()
- (4) 作文 ()
- (5) 人造 ()
- (6) 緑化 ()
- (7) 国連 ()
- (8) 無限 ()

- ア 特急
- イ 言語
- ウ 国営
- エ 美談
- オ 改心
- カ 未完
- キ 習性
- ク 発着

⑤ 次の熟語がそれぞれ類義語になるように、()に入る漢字を答えなさい。

- (1) 案外 — () 外
- (2) 方法 — () 段
- (3) 用意 — () 備
- (4) 自然 — () 然
- (5) 不安 — 心 ()
- (6) 長所 — () 点

⑥ 次の()に「不・無・非・未」のどれかを入れて三字熟語をつくりなさい。

- (1) () 成年
- (2) () 常識
- (3) () 本意
- (4) () 責任
- (5) () 解決
- (6) () 完成

⑦ 次の()にあとのことばを漢字に直して入れて、三字熟語をつくりなさい。

- (1) () 金石
- (2) () 大成
- (3) 先入 ()
- (4) () 食住
- (5) 定位 ()
- (6) () 対面

⑧ 次の()に漢字を入れて、四字熟語をつくりなさい。

- (1) 以心 () 心
- (2) 空 () 絶後
- (3) 公 () 正大
- (4) 意味 () 長
- (5) 有名 () 実
- (6) 日進月 ()
- (7) () 耳東風
- (8) () 光石火

⑨ 次の — 線の同訓異字を漢字に直しなさい。

- (1) ① 学問をおさめる。
- ② 国をおさめる。
- (2) ① 計算問題をとく。
- ② 相手をときふせる。
- (3) ① 会議の議長をつとめる。
- ② 問題の解決につとめる。
- (4) ① 長い年月をへる。
- ② 川の水がへる。

⑩ 次の□に共通の漢字を入れると熟語ができます。その漢字を答えなさい。

- | | | | |
|--------|----|----|----|
| (1) 実□ | □在 | □状 | □場 |
| (2) 感□ | 表□ | 心□ | □熱 |
| (3) □近 | 間□ | □続 | □着 |
| (4) □道 | □知 | 果□ | 速□ |
| (5) 読□ | □格 | 打□ | 走□ |
| (6) □意 | 事□ | □国 | □事 |
| (7) 日□ | □温 | □時 | 平□ |

マイ ジュック
My Juck

国語 5

解答と解説



前講座

5 説明文の読み方(3)

30 ~ 33 ページ

解説

6 説明文の読み方(4)

34 ~ 37 ページ

〔基本問題〕 問一エ 問二Aエ Bア 問三エ 問四例川に親しめるようにとって、各地で進めている「親水護岸」の造成。 問五〔練習問題〕 問一㊸ 問二かえる・手 問三例音が変化したことば／例列のことばに置きかえられたことば／例長い間に意味の変化したことば 問四Aせとももの Bきもの 問五イ 問六複合語：例複数のことばを組み合わせで作ったことば。外来語：例外国語を借りて、日本語の中に採り入れたことば。 問七例ことばは、その時の人間生活の必要によって生まれ、時代とともに変わっていくものである。

解説

〔基本問題〕 問一イ 問二例蒸発することによって体熱をうばい、体を冷やす作用。 問三エ 問四耳を立てて走る・あせをかかない・風当たり・体熱

〔練習問題〕 問一ウ 問二食べ物や飲み物 問三Aイ B才 問四ウ

問五人間味のある血の通った形 問六エ

⑤ 漢字の読み方・送りがない

38～39ページ

- 1 (1)イ (2)ア (3)ウ (4)イ (5)ア (6)ウ (7)エ (8)ア (9)エ (10)ウ
(11)エ (12)イ

- 2 (1)音：テイ 訓：そこ (2)音：ハン 訓：めし (3)音：シユ 訓：たね (4)音：ボクジヨウ 訓：まきば (5)音：ソウゲン 訓：くさはら

- 3 (1)エ (2)ウ

考え方

(1)エは「ビョウ(ドウ)」と読みます。「平」を「ビョウ」と読む場合は「平等」だけです。(2)ウは「ホツ(サ)」と読みます。「発」を「ホツ」と読むものには、ほかに、発起、発心、発句、発足、発たんなどがあります。

- 4 (1)まいご (2)くだもの (3)けしき (4)かわら (5)たなばた (6)へた

- 5 (1)ア (2)イ (3)ア (4)ウ (5)ア (6)イ

- 6 (1)アおも(い) イかさ(ねる) (2)アほそ(い) イこま(かい) (3)アのぼ(る) イあ(がる) (4)アむす(ぶ) イゆ(う) (5)アくだ(る) イさ(がる) ウお(ろす) (6)アひ(える) イつめ(たい) ウさ(める)

- 7 (1)耕す (2)整える (3)費やす (4)預ける (5)快く (6)む

- 8 (1)ける (2)う (3)しい (4)れる (5)める (6)む

⑥ 同音・同訓異字と同音異義語

40～41ページ

- 1 (1)ア合 イ会 (2)ア覚 イ冷 (3)ア付 イ着 (4)ア早 イ速
(5)ア計 イ測 ウ図 (6)ア厚 イ暑 ウ熱 (7)ア明 イ空 ウ開
- 2 (1)ア安 イ案 (2)ア曲 イ極 (3)ア芽 イ画 ウ賀 (4)ア特 イ得
ウ徳 (5)ア永 イ泳 ウ栄 エ営 (6)ア去 イ居 ウ挙 エ許
- 3 (1)敗↓破 (2)会↓合 (3)治↓収 (4)登↑上 (5)多↓大 (6)努↓務
(7)議↓義
- 4 (1)例回想・海草(回送・改装など) (2)例機関・期間(季刊・基幹・器官など) (3)例開放・快方(会報など)
- 5 (1)イ (2)イ (3)イ (4)ウ (5)ア (6)ウ (7)ウ (8)エ
- 考え方** (2)「会心」は、心になんて満足なこと。(6)「歓心」は、よろこぶ心という意味で、ほとんどの場合、「歓心を買う(人の気に入るようにつとめる、の意)」の形で使われます。(8)「タイセイ」の代表的な使い分けは、有利な体勢、政治体制、大勢が決まる、受け入れ態勢、などです。それぞれの「タイセイ」の意味を、国語辞典で調べておきましょう。
- 6 (1)ア静止 イ制止 (2)ア最後 イ最期 (3)ア対照 イ対象 ウ対称 (4)ア衛生 イ衛星 ウ永世 (5)ア家庭 イ過程 ウ仮定 (6)ア機械 イ機会 ウ器械 (7)ア高価 イ効果 ウ校歌 (8)ア氏名 イ指名 ウ使命

次講座

次講座

前講座

24 随筆の読解(2)

170～175ページ

〔練習問題〕 問一 夕日があさります。 問二 (1) 皿のなかに左手をいれた行動。(2) 皿イスラムの教えでは、左手は不浄の手とされているから。 問三 右手 問四 エ 問五 ことなる自然・民族・文化(自分とことなる文明) 問六 ウ

解説

〔発展問題〕 問一 (この年の一月下旬におそってきた) 寒波 問二 ア 問三 ウ 問四 青ざめたショック 問五 イ 問六 豊作 問七 考えしてみる 問八 イ 問九 イ 問十 有機農研のなかまたちがかけつけ、雪が晴れるとすぐに収穫にとりかかってくれたこと。 問十一 家庭の加工用としてつかえそうな被害の軽いもの／すぐに加工場にまわさないと日持ちのしないもの／もう牛の餌か捨てるほかはないもの 問十二 長所： 例 やさしい息づかいでつつんで心をなごませてくれる。 短所： 例 ひとたび荒れくると、冷害、かんばつ、台風、豪雪などの災害をもたらす。 問十三 わが子を失 問十四 イ 問十五 イ

解説

解説

【4】 説明文を読んで、記述問題に答える

176～179 ページ

1 問一 例量が減ってきた水中の餌を効率よく集めるため。 問二例魚がすんでいる水は酸素が多いので、ミジンコの体がなぜ赤くなるのかを調べる実験には適していないから。 問三例酸素不足のときには、ヘモグロビン濃度を高めて、水中から酸素を効率よく取りこむようになる。また、酸素濃度が高くて低くても、体の活動が活発になり、餌を食べる速度がはやくなる。 問四例酸素濃度が高いと、魚がすめるので、赤い色でめだつミジンコは、魚に食べられてしまうから。 問五例紫外線の影響を強く受ける地域。

解説

解説

漢字ドリル 6

180～181 ページ

- ① (1) ぼうえき (2) しょうち (3) こうせい (4) じゅんび (5) ぎむ
(6) どんとう (7) そんがい (8) おん (9) たいど (10) じょうしゃけん
(11) ぼせん (12) むしゃ (13) せいせき (14) こじん (15) ぶっか
- ② (1) 道徳 (2) 肥料 (3) 朝刊 (4) 余計 (5) 雑木林 (6) 講演 (7) 桜
(8) 夢中 (9) 製造 (10) 性能 (11) 招待 (12) 原因 (13) 芸術 (14) 病状
(15) 効果
- ③ (1) 増える (2) 貧しく (3) 勢い (4) 過ぎる (5) 移る (6) 限る
(7) 許す (8) 構える (9) 任せる

次講座

10	9	8	7	6	5	4
(1) 現	(1) 傳	(1) 試	(1) 未	(1) 意	(1) イ	
(2) 情	(2) 前	(2) 集	(2) 非	(2) 手	(2) ヲ	
(3) 接	(3) 明	(3) 観	(3) 不	(3) 準	(3) エ	
(4) 報	(4) 深	(4) 衣	(4) 無	(4) 天	(4) 才	
(5) 破	(5) 無	(5) 置	(5) 未	(5) 配	(5) ウ	
(6) 故	(6) 歩	(6) 初	(6) 未	(6) 美	(6) キ	
(7) 常	(7) 馬				(7) ア	
	(8) 電				(8) 力	

次講座